第48回　堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会　障害理解啓発パンフレット

〔説明〕

これはＡ4　横　カラー　両面　2つ折りのパンフレットです。

〔説明終わり〕

発行：堺市　2023年製作

テキスト化凡例

1　テキスト化にあたり目次を作りました。タイトルの前に◎印を付けています。

2　テキスト化の際に加えた説明は〔〕（亀甲カッコ）で括っています。

3　イラスト・写真の説明は【】（墨付きカッコ）で括っています。

4　ルビは《》（二重山かっこ）で囲んでいます。

テキスト化凡例終わり

目次

◎　この記念品ができるまで

◎　障害のある方《かた》の日常生活での困りごと事例集

◎　堺市の取り組みについて　一部をご紹介します

◎　PASSER《パッセ》店舗のご紹介

目次終わり

◎　この記念品ができるまで

今回の記念品は市内5つの作業所の皆さんにご協力いただきました。

タグを作ったり、カバンを包装したり、皆さん熱心に取り組んでくれました。

誰もが使いやすいバッグに仕上がりました！

この記念品を製作してもらうことは、作業所に通うみなさんの工賃（賃金）につながっています。

【写真2枚】

撮影協力「堺みなみ」

〔説明〕

1　記念品のバッグです。布製で、両手のひらを広げたくらいの大きさです。持ち手と本体側面は白色、底の部分は紺色でまちがあり、広げて使える形です。茶色のタグには「スポレク」とシンボルマークの判が押されています。

2　「せいさくちゅう」と文字があります。ミシンを前に、マスク姿で記念品のバッグを作っている作業者です。

〔説明終わり〕

【写真終わり】

詳しくはこちら　〔と、　二次元コードがあります〕

◎　障害のある方《かた》の日常生活での困りごと事例集

〔ヒト型の埴輪のイラストがあります。埴輪が語るように吹き出しがあり、次の挨拶文が書かれています。〕

今日は、ご参加いただきありがとうございました！

多くの方《かた》の参加とご協力で、無事大会を開催することができました。

今日、障害のある参加者さんの周りには、支援者の方《かた》やご家族の方《かた》がいらっしゃいました。

ただ、支援者の方《かた》やご家族がいない時には、1人で困ってしまうこともあります。

その時に誰かの声掛けがあれば、困りごとが解決するかもしれません。

そんな事例を紹介しますので、ぜひ読んでみてください！

〔３つの事例があります〕

1　視覚障害

点字ブロックの上に自転車があって、通れずに困っていました。

その時、通りかかった人が「自転車のない所まで一緒に行きますよ。」と声をかけてくれました。

おかげで、無事に自転車を避けて通ることができました。

【イラスト】

〔説明〕

点字ブロックを遮る自転車に白杖《はくじょう》が当たり、困っている視覚障害者と声をかける男性です。

〔説明終わり〕

【イラスト終わり】

2　聴覚障害

電車に乗っていると、急に電車が止まってしまいました。アナウンスが流れているようですが、聞こえないので何が起こったのか分かりません。

困っていると、隣の人がスマホのメモ機能で状況を知らせてくれました。

おかげでなぜ電車が止まっているのか分かり、安心することができました。

【イラスト】

〔説明〕

込み合う電車内で困っている人たちと、アナウンスをしている人がいます。聞こえないために理解できず困って顔を見合わせる男女がいます。

〔説明終わり〕

【イラスト終わり】

3　知的障害

バスで目的地まで行こうと案内板を見ましたが、難しくてどのバスに乗ったらいいか分かりませんでした。すると近くの人が「どうしましたか？」と声をかけてくれました。

おかげで、乗りたいバスに乗ることができ、目的地に行けました。

【イラスト】

〔説明〕

バス停に停まるバスを前にして、困って立ちつくす人の後ろ姿と、声をかけようとする女性です。

〔説明終わり〕

【イラスト終わり】

◎　堺市の取り組みについて　一部をご紹介します

〔ヒト型の埴輪2体と、前方後円墳のイラストがタイトルを挟んであります。虫眼鏡のイラストも付いています。〕

〔3つの取り組みが紹介されています。〕

1　堺市手話言語・コミュニケーション条例の制定

堺市では、誰もがみんな平等に情報を得て、コミュニケーションを取り合える社会をめざし、市民向け手話動画やコミュニケーションボードの作成、市民向け手話講座の開催などを行っています。

詳しくはこちら　〔と、二次元コードがあります。〕

〔手話をする男女のイラストがあります。〕

2　堺市立健康福祉プラザの設置

堺区旭ヶ丘中町にある、障害のある人とない人の交流拠点施設です。

パン作りや工作教室、障害者スポーツ教室のほか、いろいろな相談もできます。

詳しくはこちら　〔と、二次元コードがあります。〕

〔車いすボッチャをする男性のイラストがあります。〕

3　障害を理由とする差別の相談窓口

障害を理由とする差別は、法律により禁止されています。

堺市では、障害のある方《かた》やそのご家族・支援者などに向け、相談窓口を設置しています。

電話番号：072-280-2001　FAX番号：072-228-8918

詳しくはこちら　〔と、二次元コードがあります。〕

◎　PASSER《パッセ》店舗のご紹介（イオンモール堺鉄砲町　1階）

【紹介文を黄色の枠線で囲み、クッキーと緑色のコップ、熊のアップリケを付けたキルティングのカバンのイラストがあります。】

みなさんPASSER《パッセ》をご存じですか？

PASSER《パッセ》は、障害のあるみなさんが作業所で作った授産製品を売っているギフトショップです。

食器やカバン、アクセサリー、お菓子などを売っています。

ここで販売している商品は、この記念品のように障害のある方《かた》の工賃につながります。みなさん、ぜひ来てみてください！

詳しくはこちら　〔と、二次元コードがあります。〕

以上で、「第48回　堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会　障害理解啓発パンフレット」のテキスト化を終わります。

製作　堺市立健康福祉プラザ　視覚・聴覚障害者センター

製作協力　テキスト化堺

製作完了2023年10月